

# 環保研 だより

Vol.20  
2012. 8



それって薬？

大丈夫？

模造医薬品から医薬品成分を検出

模造医薬品から  
医薬品成分を検出

香川県内の男性が電話勧誘によりDVDとともに購入した模造医薬品（偽造シアルス錠）を、香川県環境保健研究センターで検査したところ、勃起不全治療薬バイアグラの成分であるシルデナフィルを検出したのでお知らせします。

インターネットや電話勧誘において販売されている模造医薬品には、医薬品成分が含まれていることがあり、**摂取することにより健康被害が発生するおそれがありますので、県民の皆様は安易に購入や摂取をしないでください。**





お子さんが、蚊に刺されないように注意しましょう。



## 日本脳炎の流行予測調査

環境保健研究センターでは、県内での日本脳炎の流行予測を目的として、毎年7月から9月の間に、日本脳炎ウイルスの主たる増幅動物であるブタの日本脳炎ウイルスへの感染状況調査を行っています。

7月23日に採血したブタの検査結果では、ヒトに対する感染危険性ありと判断されました。

人の日本脳炎が発生しやすい状況にあると考えられます。



## 蚊に刺されないように

- 外出時には長袖、長ズボンなどを着用し、露出している皮膚には、蚊除け剤を使用するなど、蚊（コガタアカイエカ）に刺されないよう十分に注意しましょう。
- 網戸を使用して、蚊の侵入を防ぎましょう。
- 蚊の発生を助けるような、水たまりなどをなくしましょう。



## ワクチン

- 平成7年度～平成18年度に生まれた方は、日本脳炎の予防接種が不十分になっています。
- 特に、今年（平成24年度現在）小学2年～4年生の方は、母子健康手帳を確認のうえ、不足分の接種を受けてください。

## ワクチンの標準的なスケジュール

- 第1期接種：通常3歳で2回、4歳で1回
- 第2期接種：通常9歳で1回

日本脳炎ウイルスは、人から人へは感染しません。

夏です、蚊の多い季節がやってきました。日本脳炎ウイルスはブタの体内で増殖し、蚊(コガタアカイエカ)を媒介して人に感染します。毎年、日本脳炎ウイルスを保有するブタが西日本を中心に確認されています。特に西日本地域(中国、四国、九州等)でブタの多い場所や(コガタアカイエカが発生する)水田、沼地の周辺の間外では、蚊に刺されないように気をつけましょう。

日本脳炎に感染する経路は蚊が媒介動物の中で唯一です。蚊(コガタアカイエカ)に刺されることが感染の経路です。蚊はブタの体内で増殖し、ブタから蚊へ、蚊から人へと感染します。日本脳炎ウイルスは、人から人へは感染しません。

日本脳炎に感染する経路は蚊が媒介動物の中で唯一です。蚊(コガタアカイエカ)に刺されることが感染の経路です。蚊はブタの体内で増殖し、ブタから蚊へ、蚊から人へと感染します。日本脳炎ウイルスは、人から人へは感染しません。

日本脳炎に感染する経路は蚊が媒介動物の中で唯一です。蚊(コガタアカイエカ)に刺されることが感染の経路です。蚊はブタの体内で増殖し、ブタから蚊へ、蚊から人へと感染します。日本脳炎ウイルスは、人から人へは感染しません。

河川水の場合、30ℓが必要です。



有機溶媒（トルエンなど）にダイオキシン類を抽出します。

これまでの操作で、河川水30ℓが0.05ミリℓまで濃縮（600,000倍）されました。測定機器で測っていきます。

# 1 試料採取

# 2 前処理

1週間

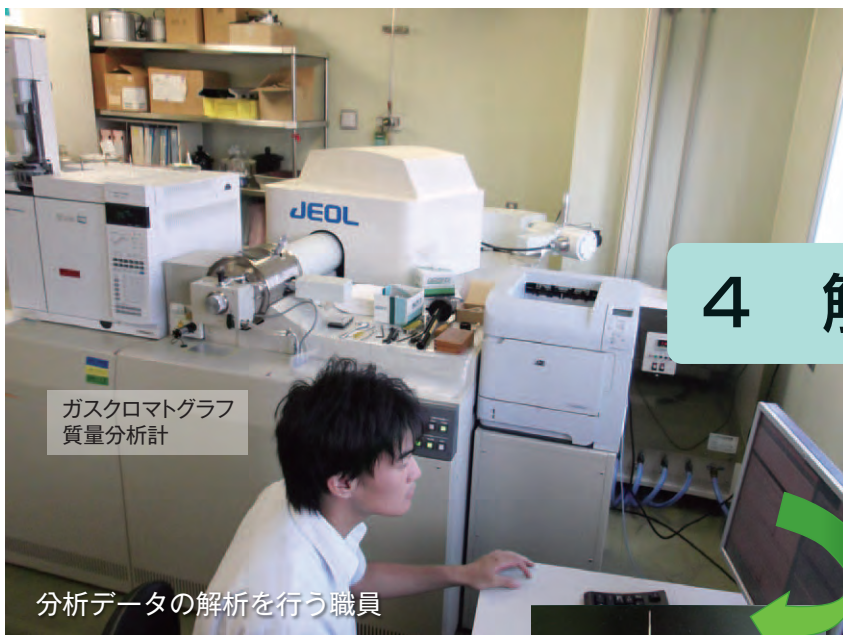
# 3 測定

1週間

# 4 解析

2週間

# 5 測定結果



ガスクロマトグラフ質量分析計

分析データの解析を行う職員

分析データを取りまとめて、ダイオキシン類の濃度を計算します。

ダイオキシン類のクロマトグラム

河川水の場合、1 pg-TEQ/ℓ未満であれば、環境基準が守られています。



# 化学分析、結果がでるまで何日かかるん？

## 「ダイオキシン類」を例に...



測定結果が出るまでに長い時間がかかるんだよ。

## Chemical Analysis

【ダイオキシン類】ものを燃やすとできる化学物質。青酸カリよりも毒性が強く、人工物質としては最も強い毒性を持つといわれる。



## 緑のカーテン実施中です

今年も緑のカーテンを実施しています。5月下旬に播種したゴーヤはただいま成長中です。緑を目で楽しみ、涼しい夏を迎えています。



## 「6月は環境月間」～詰田川ボランティア清掃～

6月6日、職員有志で詰田川河岸のゴミを拾いました。この清掃は平成19年から始めていますが、年々ゴミの量が減っています。約30分で清掃は完了しました。



## 支部長表彰を受賞しました！



5月10日、11日の2日間にわたり、松山市で中国四国支部会議が開催されました。このなかで、当センターの久保主席研究員が、平成24年度全国環境研協議会中国四国支部長表彰を受賞しました。久保主席研究員は、受賞者代表として、「後輩には“分析に対するセンス”を身に付けてもらいたい。」と挨拶しました。

**KAGAWA環境研だよりVol.20 平成24年8月**

編集・発行 香川県環境保健研究センター  
〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105  
TEL (087)825-0400 FAX (087)825-0408

E-mail: kanpoken@pref.kagawa.lg.jp  
U R L: [http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyo/e\\_center/hoken.htm](http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyo/e_center/hoken.htm)